

自己評価シート【中央町児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
□a)、 ☒ b)、□c)	法人の新人研修や児童館ブロック全体会などで事業基本理念についての研修を定期的実施しており、各職員の世代や経験年数等に応じて、それぞれ主催される研修に参加している。また館内研修でも法人理念、児童館ガイドライン等に触れて学ぶ機会がある。 利用者への周知としては、理念、基本方針は法人 HP に掲載されている。 また、児童館のおたよりから QR コードを読み取ると法人の HP にアクセスすることができる。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
事業基本理念が定められているため、立案、実施、振り返り時、それに沿ったものか考えることができる。法人レベル・ブロックレベル・館内レベルと三段階で研修が実施されるので、各職員が理念や基本方針について学びが深められる。	事業基本理念に定められている、地域社会の福祉課題に積極的に取り組むといった点で、外に向けての発信が不十分だと感じている。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	

(b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針、法人理念、目標を基に事業計画を行い、それに沿った事業を実施している。
2－1－（2） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を発揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を発揮している。 (b) 児童館の施設特性を発揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を発揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	乳幼児親子から高校生まで、各世代にあった支援を行っている。 また各世代にとって、それぞれ地域での居場所となり、地域で必要とされる児童館になれるよう取り組んでいる。今年度より、課題であったフロアの乳幼児スペースを拡大し、利用者ニーズに応えている。 また中高生対応館として、ボールコート利用や音楽スタジオ等の目的をもった利用だけでなく、中高生の自由な居場所としての機能も果たせるよう、フロア内で中高生向けの雑誌や漫画コーナーを充実させている。
2－1－（3） 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) － (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	小学生の活動内で「目黒区子ども条例」、またそれに関係する事柄について子どもたちと考える時間を持っている。昨今の不適切保育等を例に、子どもの人権について各職員が学ぶ機会を持っている。目黒区や法人で作成されている職員セルフチェックシートを活用し、職員理解を深めることにより、子どもの権利が確立されるよう取り組んでいる。
2－1－（4） 児童館の理念・目的及び施設特性について	

良いと思う点	改善が必要だと思う点
小学生の活動内で「目黒区子ども条例」また、それに関する内容について子どもたちと考える時間を持っている。	「目黒区子ども条例」について考える時間があるが、それがどこまで子どもたちに伝わっているのか、判断することが難しい。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	毎日、職員間で振り返りの時間を持ち、個々の子どもたちの状況について共有し、どの職員も同じ対応をしている。特別な配慮が必要な場合も、職員間で話し、それぞれ子どもにあった対応ができるようにしている。
2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	「こども会議」を定期的に行い、子どもたちから児童館でやりたいことを出してもらい、それを形にする取り組みを行っている。 児童館まつりではスタッフを募集して、お祭りに向けて子どもたちがゲームの企画や内容を考えたり、景品やお店の看板づくりも含め準備を進めていた。 当日のコーナー運営も担い、自分たちが発案したものを形にできた。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】 (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助	

している。 (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☑a)、□b)、□c)	当館のグループ活動は、1年生と2～3年生、4～6年生の3つの枠に分けて実施をしている。小学校に入学したてであることや体力差等を考え、1年生は横の繋がりを強化させ、2・3年生は縦と横の繋がりを、4～6年生は子ども同士で思い切り遊べるよう環境を整えている。 そこで生まれる学校を越えた繋がりや、異年齢での子どもたちの繋がりなど、児童館の特性を活かし、子ども同士の関係性が築けるよう援助している。
2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
子どもたち一人ひとりと丁寧な関わりをすることが、子どもたちとの信頼関係に結びついていると思う。中高生対応館の特性を生かし、長期間に渡る継続した支援をすることができる。	改善が難しい問題ではあるが、グループ活動を実施する際はプレイルームを使用するため、その時間に来館している子どもたちがプレイルームを使用することができず、不満の声が一部ある。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☑a)、□b)、□c)	月1回、様々な状況を想定し避難訓練を行っている。小学生だけでなく、乳幼児クラブでも親子で避難することを想定した訓練を実施している。 事故、感染症に関してはマニュアルを整備し、職員間で共有している。 嘔吐処理セットを常備し、迅速に対応できるようにしている。
2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。	

(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	自館でのトラブルに限らず、他施設で起こった事故等を職員間で共有、検証し、 自館でも起こりうることだと想定し、改善すべき点は迅速に対応している。